

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 16日		～ 令和7年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 20日		～ 令和8年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 38
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との協働を大切に、共に支援を考えること	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害や知的障害をもつお子様たちの特性をきちんと保護者の方に説明をしている。 保護者の方のニーズ、課題等の背景を一緒に考え整理し必要な支援や手だての計画を保護者の方と同じ方向を向いて支援すること。 それは、サポート役であり保護者の方の支援の支えとなること。 	情報共有をより充実させるため、LINEや必要に応じたお電話、相談時間の確保に努めている。
2	『コンシエチーム』『ありがとうチーム』が連携し、法人全体で一貫性のある支援体制	<ul style="list-style-type: none"> 法人全体で研修会(特性理解・対話スキルなど)や茶話会を行い、スタッフ全員で支援の質と専門性の向上に取り組んでいる。 放課後等デイサービスから日中支援、移動支援へと、段階的に支援がつながるよう計画し、継続したサポート体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に法人全体でスキルアップにつながる研修を行い、支援の向上に取り組む。 管理者同士が連携し、よりよい支援体制づくりを進める。
3	ご家庭や学校、地域へと支援がにつながるよう、般化を目指して取り組む	<ul style="list-style-type: none"> お子様がどんなことに気づいているのか、どんな特性があるのかを一緒に整理している。そのため、学校とのやり取りや協働をととても大切にしている。 学校とご家庭の姿をつなぎながら、「これから何をどう進めていくと良いか」を相談し計画している。 	保護者や学校の先生からの情報を丁寧に伺い、しっかり共有していくことを大切にしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の皆さまへの情報共有を、もれなくスムーズに行うこと。	掲示物などでお知らせしていますが、見落としが生じることもあり、全員への周知に課題がある。	ホームページやLINEの活用を徹底し、新規ご利用の方には登録をお願いして確実な情報共有を進めるとともに、今後はお願い事項や保護者の方に役立つ研修情報も発信できるよう体制を整えていく。
2			
3			